

東京大学教養学部

オルガン演奏会

第141回演奏会

2019年7月16日(火) 19時00分

東京大学教養学部 900番教室(講堂)

July 16 7:00 pm; Auditorium No. 900,
Komaba Campus, The University of Tokyo

オルガン独奏：ジルヴィウス・フォン・ケッセル

Organ: Silvius von Kessel

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)

前奏曲とフーガ 変ホ長調

Präludium und Fuge Es Dur BWV 552

J・H・ブットシュテット Johann Heinrich Buttstett (1666-1727)

アリアと12の変奏曲へ長調

Aria und 12 Variationen F-Dur

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach

ライプツィヒ・コラール集より

「いと高きところには神にのみ栄光あれ」について

二つのコラール前奏曲(ソプラノに定旋律、テノールに定旋律)

Zwei Choralvorspiele aus *Achtzehn [„Leipziger“] Choräle verschiedener Art*:

„Allein Gott in der Höh sei Ehr“

BWV 662 (C.f. in Soprano) und BWV 663 (C.f. in Tenore)

J・G・ヴァルター Johann Gottfried Walther (1684-1748)

グレゴリの協奏曲変ロ長調(オルガン編曲)

Concerto del Signor Gregori (B-Dur)

- *Largo*

- *Allegro*

- *Adagio e staccato*

- *Allegro*

W・A・モーツァルト Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)

アンダンテ へ長調

Andante F-Dur KV 616

S・v・ケッセル Silvius von Kessel (*1965)

即興演奏

Improvisation

入場無料(先着500名) 開場18時45分

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会 協賛：東大駒場友の会

<http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/> tel 03-5454-6139 (駒場博物館)

演奏者プロフィール

第141回演奏会

2019年7月16日(火) 19時00分(開場18時45分)



ジルヴィウス・フォン・ケッセル (オルガン)

Silvius von Kessel

ドイツのオルデンブルク生まれ。エッセンのフォルクヴァング大学で教会音楽を学び、なかでもオルガンをギスベルト・シュナイダーに師事する。その後、ドイツ学術交流会(DAAD)の奨学生としてパリのオリヴィエ・ラトリーのもとでオルガンを学ぶ。

1994年からエアフルトの大聖堂である聖マリア教会のオルガニストとカントールを務め、95年からはエアフルト司教区のオルガン専門員および教会音楽委嘱員を兼任する。

1995年にエアフルト国際オルガン演奏会のシリーズを開始し、2000年にはエアフルト市の福音教会音楽家たちとともに宗派を超えたエアフルト教会音楽祭を立ち上げる。

エアフルト国際オルガン・コンクールを主宰し、1999、2002、2005年に開催したが、これはヴァイマルのフランツ・リスト音楽院との共催で、新たなエアフルト=ヴァイマル・バッハ/リスト・オルガン・コンクールへと発展し、2011年以来ジルヴィウス・フォン・カッセルはその芸術監督を務めている。

2004年からは新たに組織されたテューリンゲン・バッハ週間の議長および芸術監督を務めており、これはエアフルトを州都とするテューリンゲン州の音楽祭のなかでもっとも大きなものである。

1995年から2004年まで、および2007年以来、ヴァイマルのフランツ・リスト音楽院でオルガンの教鞭を執り、2008年には同音楽院の名誉教授の称号を与えられる。

2018年には自作の《ミサ・クム・ユビロ》を完成させたが、これは混声合唱、児童合唱、独唱、オーケストラとオルガンのための1時間ほどを要する作品であり、2019年9月にエアフルトの大聖堂で初演される予定である。

ヨーロッパ内外で数多くの演奏会を開いており、古典作品や即興の優れた演奏家として知られており、アントン・ブルックナーの交響曲第3番のオルガン編曲は高く評価されている。ドイツ内外のオルガン・コンクールの審査員も多く務め、ラジオ、テレビへの出演も多くCDも多数リリースされている。

駒場キャンパスの音楽活動について

1977年に、森泰吉郎氏(森ビル株式会社初代社長)のご寄贈によって緑に囲まれた900番教室(講堂)にパイプオルガンが設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。

また、2006年秋には、スタインウェイのフルコンサート・グランドピアノが駒場コミュニケーションプラザ北館2階の音楽実習室に設置されました。音楽実習室では2007年よりオーディションによって選抜された学生による学生選抜

コンサートが開催されるなど、駒場キャンパスの音楽活動の軸となっています。

こうした多彩な駒場の音楽活動は「駒場音楽振興基金」(東大駒場友の会)からの補助によって支えられています。皆様からのご寄付をお寄せくださいますようお願いいたします。

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部
オルガン委員会 <http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/>
ピアノ委員会 <http://piano.c.u-tokyo.ac.jp/>
Tel. 03-5454-6139 (駒場博物館)
Tel. 03-3467-3536 (東大駒場友の会)

